



特集 1：感染症と予防医学について知ろう

『しっかりわかる ワクチンと免疫の基礎知識』

峰宗太郎 監修／池田書店

2019 年末に発生、2020 年にパンデミック宣言がなされ、未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症。終息への切り札として開発された新型コロナウイルスワクチンの接種が国内でも進んでいます。結核を予防する BCG ワクチン、いわゆる「ハンコ注射」やインフルエンザワクチンなど、乳幼児期から多くの方がワクチン接種の経験があると思います。そもそも、ワクチンはどのような仕組みで、どのような作用をもたらしているのでしょうか。

本書ではワクチンの基礎知識はもちろん、その歴史や種類、免疫や副反応とは何か、新型コロナウイルスワクチンとして新たに開発された「mRNA ワクチン」と従来のワクチンとの違いなどがやさしく解説されています。予防医学への理解を深める一冊として、不安を少しでも解消する一冊として、ぜひご活用ください。



◆◆他にもあります！感染症に関する本◆◆

- 〈感染症〉『感染症の歴史』リチャード・ガンダーマン／原書房
- 『人類は感染症とともに生きていく』ミーラ・センチリングラム／羊土社
- 〈免疫〉『免疫力が 10 割』小林弘幸／プレジデント社
- 『新型コロナ 7 つの謎』宮坂昌之／講談社
- 『大人の免疫学常識』トキオ・ナレッジ／宝島社
- 〈ワクチン〉『新型コロナワクチン Q&A100』コロワくんサポーターズ／日経メディカル開発
- 『今だから知りたいワクチンの科学』中西貴之／技術評論社
- 『子どもと親のためのワクチン読本』母里啓子／双葉社
- 〈予防対策〉『科学的に正しい除菌・掃除術』神野敏幸／扶桑社
- 『肺炎 誤嚥・新型コロナ・COPD』文響社

志度図書館・寒川図書館ともに、2 階に医療健康コーナーを設けています。

専門的な本から病気ごとの入門書、健康に関する本、闘病記などたくさんの種類の本があります。

特集2：親子で楽しむ🌻おうち時間

『作ってあそぶ！ ままごと&ごっこ』

まるばやしさわこ/マイルスタッフ



自宅で過ごす時間が増え、遊べるおもちゃも、出来るあそびも限られている中で頭を悩ませている親御さんは多いのではないのでしょうか。おうち遊びの本も様々なものが出版されていますが、特におすすめしたいのがこちらの一冊。

本書では段ボールや色画用紙、100円均一で販売されている紙粘土など、安価で身近な材料だけを使用、リアルでかわいらしい「ごっこ遊び」のおもちゃが完成します。紙粘土を混ぜて色の組み合わせを楽しむアイスクリームや茶封筒で作るたいやき、本格的なキッチンまで、親子で楽しめる工作が盛りだくさん。ほとんどが紙製品なので、遊び終わった後の処理が簡単に出来るところも嬉しいポイント。さらに、各工作と「ごっこ遊び」には語彙力、表現力、観察力など「ここを育む」一口メモが掲載されており、家庭教育にも役立つ内容になっています。

こちらもおすすめ！

『かぎ針で編む子どものおままごとTOY』アップルミンツ



◆◆他にもあります！あそびとおもちゃの本◆◆

- 〈あそび〉『こどもおうちあそび大全』横山洋子/永岡書店
『あそびアイデアBOOK 赤ちゃんと一緒に楽しむ』開一夫/朝日新聞出版
『非認知能力が育つ3~6歳児のあそび図鑑』原坂一郎/池田書店
『モンテッソーリおりがみ』藤崎達宏/主婦の友社
- 〈おもちゃ〉『長くあそべるフェルトのおもちゃとおままごと』日本ヴォーグ社
『ふきさんのアイデアおもちゃ大百科』佐藤蒔/偕成社

◆◆「子育て支援コーナー」新着図書◆◆

- 〈出産〉『あんしん、やさしい最新妊娠・出産オールガイド』ベビーカレンダー/新星出版社
- 〈食事〉『赤ちゃんのための補完食入門』相川晴/彩図社
- 〈育児〉『マンガでわかる子育てコーディネート』山本ユキコ/創元社
『孫育ての新常識』小屋野恵/メイツユニバーサルコンテンツ
- 〈生活〉『子どもにいいこと大全』主婦の友社/主婦の友社
- 〈その他〉『子育て手帳のつくりかた』*LuLu Cube*/G.B.